

トータル保険だより

2019年5月号



(有)トータル保険がみなさんにお届けするニュースレターです。

《発行元》

有限会社トータル保険

令和 1年5月1日 第277号

〒997-0853 鶴岡市小淀川色田69-28

TEL:0235-25-1315 FAX:0235-25-1064

URL: <http://total-hoken.net/>

お兄ちゃんの 思いやり

A子さんは、小学一年生の息子H君と、幼稚園の年中の息子Y君の二児の母親です。弟のY君には障害があり、今年には就学問題を控えています。今年に入ってから、お兄ちゃんのH君が「来年はY君も一年生だね。一緒に学校行くだ！」とニコニコ顔で言ってきました。しかし、弟のY君は言葉も殆ど話せず、服を着たり脱いだり、身の回りの自立もままならない為、お兄ちゃんを通う小学校の、特別学級に上がるのは非常に難しい状態でした。

お兄ちゃんの楽しみを摘み取るように心が痛みましたが、遅かれ早かれ言わなければならぬことだと思い、A子さんはお兄ちゃんに「Y君は、お話ができないから、トイレに行きたくても一人でできないし、体育だから着替えましようね、って言われても一人でできないよね。給食も、誰かにお手伝いしてもらわないと、食べることができないのよ。Y君のお世話をしてくれる先生がいる学校でないと、行くことができないのよ」と、現実を突き付けてしまいました。

「ぼく、学校に行く時には、危な

くないようにY君の手をつなぐから。休み時間のたびにY君の様子を見に行くから。Y君が虐められないように守るから。」そう泣きながら、一緒に学校に行くと頼むH君に、A子さんも泣きながら「ごめんね」と謝ることしかできませんでした。とうとうH君は、「Y君と一緒に行くんだもん！」と言い残し、部屋にこもってしまいました。まだ小学一年生の息子に、下の子を気遣う発言をさせた上、深く傷つけてしまったことに、A子さんはとても切なくなりました。

それから数十分後…。H君が部屋から出てくると、真剣な顔でA子さんの前に座って言いました。「…本当はY君と一緒に学校がいいけど、もし絶対に無理だったら我慢するよ。その代わり、Y君が楽しく通えて、虐めの無い学校を探してね。約束してね」こんな小さな子どもが一生懸命考えて出した答えなんだ…。二人で泣きながら指切りをしました。

ご主人の帰宅後、この話をしたらご主人も号泣でした。今までY君の就学問題については、「よく分からないから、任せるよ」と頼りない事を言っていたご主人でしたが、この日を境に一緒に考えてくれる

お兄ちゃん、ありがとう。



継続しての、新しい情報やサポートをお願いします！

鶴岡市 茂木さま

トータル保険さんにお任せするきっかけとなったのは、知人の紹介でした。今までのところでは、事故の際のサポートに不安がありました。

お任せすることになり、何かあれば、時間外でも電話やライン等を活用して、連絡が取れるので助かっています。今では家族でお任せしています。今後、ライフスタイルの変化を含め、新しい情報等のお得な情報あれば、積極的に紹介してほしいです！

ご紹介から、自動車保険をお任せいただくこととなりました。今では、ご家族の自動車保険や生命保険もお任せいただいております。時代の変化に合わせて、しっかりとお役に立てるサポートをさせていただきます！

大川優平

社内の出来事

★お誕生会をしました

お誕生会、復活しました!!

久々の開催となりましたが、4月誕生月の「お誕生会」をさせていただきました。

弊社では、誕生月のスタッフさんに誕生日プレゼントと、お誕生会をさせていただきますいております。(※就業規則にはありません)

社員数は7名なのですが、今回対象の方は2名です。飲みニケーションは大事ですね。楽しいひと時でした。



◆営業時間

朝9時から夜7時まで

ニュース

セミナー開催

福祉施設でセミナーを開催。

－相続の現状セミナー

たくさんの質問が出るくらい皆さん真剣です。時々笑い声が響く和やかなセミナーとなりました。(感謝)



サラリーマン川柳

- ① 一日の嫁との会話は 9秒台
- ② 上司にも部下にも言えない 「ちがうだろ」
- ③ 人減らし 「定時であがれ 結果出せ」
- ④ 父さんの 苦労知ってる 靴の底
- ⑤ ヨガマット いつしか昼寝の 敷き布団

日本全国四七、五五九句の中から選ばれた優秀100句。第31回サラ川を彩る傑作の数々をご紹介します。今回は5作を紹介しします。



情報カフェ

セカンドライフの生活費ってどのくらい？ 人生100年時代に向けて

100歳以上の高齢者数は、平成30年には約7万人になりました。人生100年時代はすぐそこまで迫っていると思われます。特に女性は男性と比べ様々なことを考えなければなりません。

60歳から100歳までの期間は40年間。仕事や旅行、趣味、ボランティア、そして両親、配偶者、自身の介護など様々な事案があります。

さらに、健康寿命があります。健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間です。その後には介護や認知症リスクがあり、配偶者の死別による孤独、終活、葬儀やお墓の問題、相続対策などを考えなければなりません。特に遺産分割では近年、家庭裁判所の調停審判件数は年間1万5000件程あります。注意が必要です。

今回はお金の面から解説します。

公的保険アドバイザー 大川 淳

